

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅡ 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

使用教科書：（ELEMENT English CommunicationⅡ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】英語の字彙を通して、言語の働きや役割に関する知識を身に付け、それらを4技能において活用する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】英語の学習を通じて、聞いたり読んだりしたことをもとに情報や考えを整理して適切に表現する力を身に養

【学びに向かう力、人間性等】英語の背景にある文化への理解を深めるとともに、英語の字彙や活用に目的的・主体的に取り組み、英語を用いて他者や社会に関わろうとする力を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 ○外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。	○場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ○外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いて、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。	○外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 ○外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 Lesson1 【知識及び技能】 カルチャー・マップについて、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、概要や要点、詳細を捉えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 カルチャー・マップについての英文を読み、関連する絵や写真、キーワードなど一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、概要を詳しく話して伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 あらすじを発表するために、カルチャー・マップについて書かれた論説文を読んで、概要を捉えようとしている。	・形式主語のit、S is said to doなどの受動文 ・本文の中で用いられる表現及び語彙 ・教材 「ELEMENT English CommunicationⅡ」	【知識・技能】 （知識） 形式目的語のitやS is said to doなどの対応する能動態を持たない受動文を理解している。 （技能） カルチャー・マップについて書かれた論説文を読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 読んだ内容を伝えるために、カルチャー・マップについて、絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 あらすじを発表するために、カルチャー・マップについて書かれた論説文を読んで、概要を捉えようとしている。	○	○	○	14
B 単元 Lesson2 【知識及び技能】 ステイプ・ジョブズについて、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、概要や要点、詳細を捉えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ステイプ・ジョブズについての英文を読み、関連する絵や写真、キーワードなど一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、あらすじを時系列に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 将来について考えるために、将来の職業などについての対話を聞いて、要点や詳細を捉えようとしている。	・whateverなどの複合関係代名詞、be動詞+to不定詞 ・本文の中で用いられる表現及び語彙 ・教材 「ELEMENT English CommunicationⅡ」	【知識・技能】 （知識） whoeverなどの複合関係代名詞やbe動詞+to不定詞を理解している。 （技能） ステイプ・ジョブズのスピーチを読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 読んだスピーチの内容を伝えるために、ステイプ・ジョブズについて、絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 あらすじを発表するために、ステイプ・ジョブズのスピーチを読んで、概要を捉えようとしている。	○	○	○	13
1学期 定期考査			○	○	○	1
C 単元 Lesson3 【知識及び技能】 性別と色について、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、概要や要点、詳細を捉えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 性別と色について書かれた論説文を読み取る技能を身につけている。	・whateverなどの複合関係代名詞、be動詞+to不定詞 ・本文の中で用いられる表現及び語彙 ・教材 「ELEMENT English CommunicationⅡ」	【知識・技能】 （知識） 付帯状況のwithやthe+比較級～、the+比較級…の表現を理解している。 （技能） 性別と色について書かれた論説文を読み取る技能を身につけている。				

<p>【思考力、判断力、表現力等】 性別と色についての英文を読み、関連する絵や写真、キーワードなど一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、概要を詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 先入観についてより深く知るために、日常的な話題についての対話を聞いて、推測しながら対話の詳細を捉えようとしている。</p>		<p>【思考・判断・表現】 読んだ英文の内容を伝えるために、性別と色について、絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 あらすじを発表するために、性別と色について書かれた論説文を読んで、概要を捉えようとしている。</p>	○	○	○	14
<p>D 単元 Lesson4</p> <p>【知識及び技能】 イレーナ・センドラーについて、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、文章の展開や登場人物の心情を把握することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イレーナ・センドラーについての英文を読み、関連する絵や写真、キーワードなど一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、あらすじを論理的に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 あらすじを発表するために、イレーナ・センドラーについて書かれた物語文を読み、概要を捉えようとしている。</p>	<p>・分詞構文、完了形の受動態 ・本文の中で用いられる表現及び語彙 ・教材 「ELEMENT English Communication II」</p>	<p>【知識・技能】 〈知識〉 分詞構文や完了形の受動態を理解している。 〈技能〉 イレーナ・センドラーについて書かれた物語文を読み取る技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・読んだ英文の内容を伝えるために、イレーナ・センドラーについて、絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。 ・戦争をなくすために、戦争や紛争下の子どもたちについて、グラフを参考にしながら自分の考えや意見を話して伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 あらすじを発表するために、イレーナ・センドラーについて書かれた物語文を読み、概要を捉えようとしている。</p>	○	○	○	13
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>A 単元 Lesson5</p> <p>【知識及び技能】 人の行動における予測可能な不合理性について、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、概要や要点、詳細を捉えることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人の行動における予測可能な不合理性についての英文を読み、関連する絵や写真、キーワードなど一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、あらすじを論理的に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 あらすじを発表するために、人の行動における予測可能な不合理性について書かれた論説文を読んで、概要を捉えようとしている。</p>	<p>・itを用いた強調構文、助動詞+have+過去分詞 ・本文の中で用いられる表現及び語彙 ・教材 「ELEMENT English Communication II」</p>	<p>【知識・技能】 〈知識〉 itを用いた強調構文、助動詞+have+過去分詞を理解している。 〈技能〉 人の行動における予測可能な不合理性について書かれた論説文を読み取る技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 読んだ英文の内容を伝えるために、人の行動における予測可能な不合理性について、絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 あらすじを発表するために、人の行動における予測可能な不合理性について書かれた論説文を読んで、概要を捉えようとしている。</p>	○	○	○	14
<p>A 単元</p> <p>【知識及び技能】 クマの実話について、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、概要や要点、詳細を捉えることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 クマの実話についての英文を読み、関連する絵や写真、キーワードなど一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、あらすじを論理的に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 あらすじを発表するために、クマの実話について書かれた論説文を読んで、概要を捉えようとしている。</p>	<p>・既習文法の事項 ・本文の中で用いられる表現及び語彙 ・教材 「ELEMENT English Communication II」</p>	<p>【知識・技能】 〈知識〉 既習の文法事項を理解し、読解の際に活用できる。 〈技能〉 クマの実話について書かれた論説文を読み取る技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 読んだ英文の内容を伝えるために、クマの実話について、絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 あらすじを発表するために、クマの実話について書かれた論説文を読んで、概要を捉えようとしている。</p>	○	○	○	13
<p>定期考査</p>			○	○	○	1

2 学 期	<p>A 単元 Lesson6</p> <p>【知識及び技能】 家族と離れてしまった青年の運命的な再会について、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、文章の展開や登場人物の心情を把握することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 家族と離れてしまった青年の運命的な再会についての英文を読み、関連する絵や写真、キーワードなど一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、あらすじを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 あらすじを発表するために、家族と離れてしまった青年の運命的な再会について書かれた英文を読んで、概要を捉えようとしている。</p> <p>A 単元 Further Reading II</p> <p>【知識及び技能】 子どもが図書館利用できるように尽力した人の物語について、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、概要や要点、詳細を捉えることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 子どもが図書館利用できるように尽力した人の物語についての英文を読み、関連する絵や写真、キーワードなど一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、あらすじを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 あらすじを発表するために、子どもが図書館利用できるように尽力した人の物語について書かれた論説文を読んで、概要を捉えようとしている。</p> <p>定期考査</p>	<p>・倒置、関係副詞の非限定用法 ・本文の中で用いられる表現及び語彙 ・教材 「ELEMENT English Communication II」</p> <p>・既習文法の事項 ・本文の中で用いられる表現及び語彙 ・教材 「ELEMENT English Communication II」</p>	<p>【知識・技能】 〈知識〉 倒置、関係副詞の非限定用法を理解している。</p> <p>〈技能〉 読んだ英文の内容を伝えるために、家族と離れてしまった青年の運命的な再会について、絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。</p> <p>【思考・判断・表現】 読んだ英文の内容を伝えるために、家族と離れてしまった青年の運命的な再会について、絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 あらすじを発表するために、家族と離れてしまった青年の運命的な再会について書かれた英文を読んで、概要を捉えようとしている。</p> <p>【知識・技能】 〈知識〉 既習の文法事項を理解し、読解の際に活用できる。</p> <p>〈技能〉 子どもが図書館利用できるように尽力した人の物語について書かれた論説文を読み取る技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 読んだ英文の内容を伝えるために、子どもが図書館利用できるように尽力した人の物語について、絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 あらすじを発表するために、子どもが図書館利用できるように尽力した人の物語について書かれた論説文を読んで、概要を捉えようとしている。</p>	○	○	○	14
				○	○	○	1
3	<p>A 単元 Lesson7</p> <p>【知識及び技能】 iPS細胞の技術について、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、概要や要点、詳細を捉えることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 iPS細胞の技術についての英文を読み、関連する絵や写真、キーワードなど一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、概要を論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 概要を発表するために、iPS細胞の技術について書かれた説明文を読み、概要を捉えようとしている。</p>	<p>・that節をとる名詞、未来進行形 ・本文の中で用いられる表現及び語彙 ・教材 「ELEMENT English Communication II」</p>	<p>【知識・技能】 〈知識〉 that節をとる名詞や未来進行形を理解している。</p> <p>〈技能〉 iPS細胞の技術について書かれた説明文を読み取る技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 読んだ英文の内容を伝えるために、iPS細胞の技術について絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 概要を発表するために、iPS細胞の技術について書かれた説明文を読み、概要を捉えようとしている。</p>	○	○	○	14

学期 A 単元 Lesson8 【知識及び技能】 ガラスの歴史と発明について、使用される語句や文、情報量などにおいて一定の支援を活用すれば、概要や要点、詳細を捉えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ガラスの歴史と発明についての英文を読み、関連する絵や写真、キーワードなど一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、あらすじを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 あらすじを発表するために、ガラスの歴史と発明について書かれた説明文を読み、概要を捉えようとしている。 定期考査	・whatを用いた強調、複合関係副詞 ・本文の中で用いられる表現及び語彙 ・教材 「ELEMENT English Communication II」	【知識・技能】 〈知識〉 whatを用いた強調や複合関係副詞を理解している。 〈技能〉 ガラスの歴史と発明について書かれた説明文を読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 読んだ英文の内容を伝えるために、ガラスの歴史と発明について、絵や写真を見ながら概要を話して伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 あらすじを発表するために、ガラスの歴史と発明について書かれた説明文を読み、概要を捉えようとしている。	○	○	○	13
			○	○	○	1
						合計
						140